

1. 対象部材

引き違い襖・障子用敷居すべり材

略称：CjK 敷居すべり材

2. 標準(共通)化の部位

標準(共通)化の部位を図1に示す。

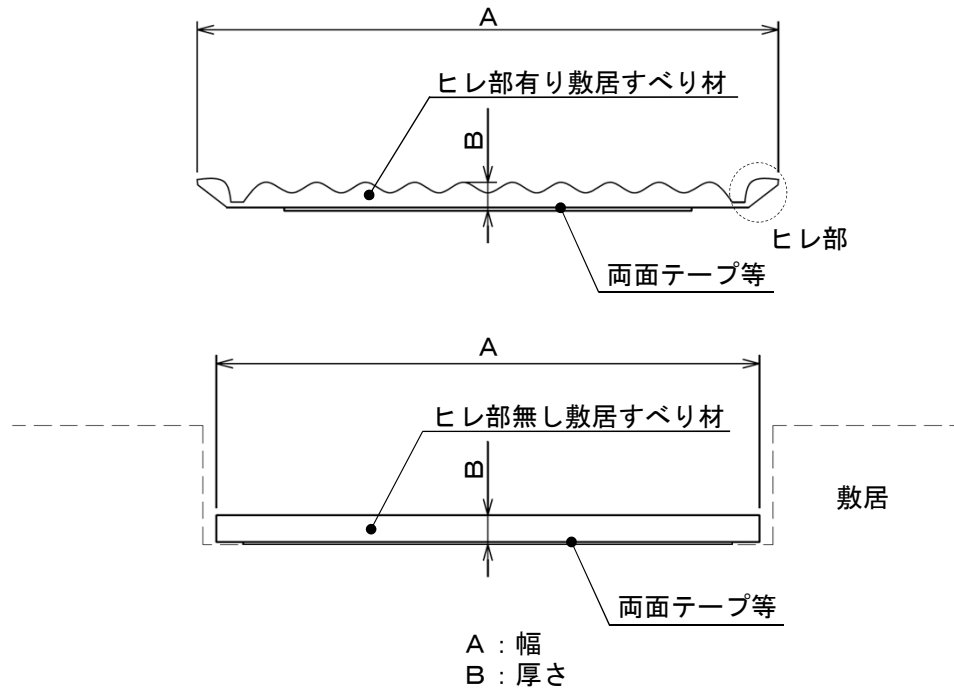


図1－標準(共通)化の部位

3. 寸法・形状

図1の各部位の寸法を表1に示す。

表1－各部位の寸法

単位：mm

項目	寸法
A：幅	$20 \leq A \leq 22$
B：厚さ	≤ 1.5

4. 表示方法

部材・印刷物・電子媒体などに、長期使用対応部材であることを表示する。
または、“CjK”マークを表示する。

5. 特記事項

- ・CjK部材基準書”094引き違い襖用鴨居・敷居”および”096引き違い障子用鴨居・敷居”の使用を前提とする。
- ・幅寸法が21mmを超える敷居すべり材は、ヒレ部有りとする。

6. 解説

- ・ヒレ部は敷居溝幅の誤差を吸収するために折れ曲がる部位のことを指す。
- ・ヒレ部有りの幅寸法Aは敷居溝に挿入する前の寸法とする。
- ・ヒレ部有りの厚さ寸法Bは敷居すべり材の最大厚さと両面テープ等の厚さを合わせた寸法とする。

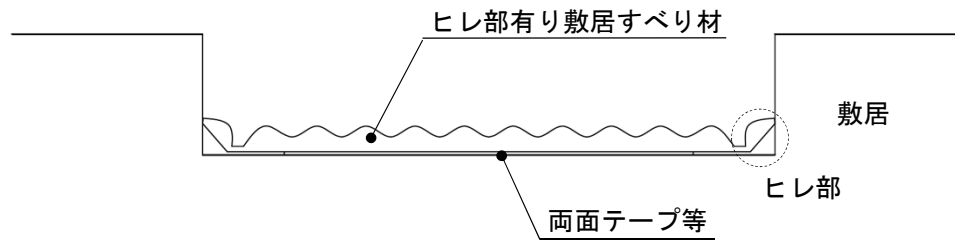


図2ーヒレ部有り敷居すべり材の敷居溝への納まり例

7. 共通事項

7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記) 専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。